



2027 テーマ【火焰】-KAEN-

「好き」を極めた人が、 新潟の冬を熱くする。

毎年2月に開く、新潟県民がつくるクリエイターの文化祭。

アート・ステージ・グルメ・コスプレが集まります。

「HENTAI」は“とことん好きを極めた人”へのほめ言葉。子どもも大人も楽しめます。

2027.02.07

SUN 10:00-17:00

アオーレ長岡 全館（JR長岡駅直結）



0 数字で見るアートHEN（2026年 第4回）

6,746人

来場者（寒波の中）

65%

39歳以下の割合

9,400万円

地域への経済効果

62社

協賛企業（延べ170社）

82団体

出展・出演（過去最多）

※来場者数：NTT人流分析／経済効果：新潟県産業連関表による推計／後援：新潟県・長岡市・JR東日本新潟支社・長岡技術科学大学など13団体

1 協賛すると、どんないいこと？

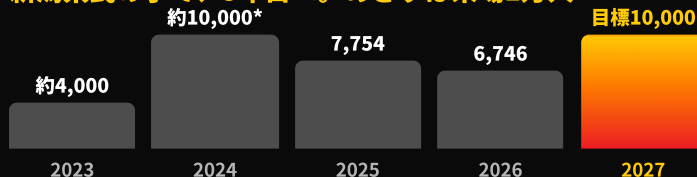
- ✓ 若い世代に会社を知ってもらえる
来場者の3人に2人が39歳以下。家族・学生に直接会える。
- ✓ 新しい「つながり」が生まれる
協賛企業・クリエイター・学生・行政と一日で出会える。
- ✓ 「地域を応援する会社」として伝わる
新潟日報（毎回掲載）・テレビ・ラジオ・JR中吊り広告で発信。
- ✓ 結果がきちんと見える
3月に実施報告レポート。生まれた出会い・商談まで報告。

2 イベントのあとも続く効果

- ✓ 出合いが「仕事」に変わる
会場で出会った企業が共同ショーを開き結婚式の成約へ。
- ✓ 未来の社員・お客さんに出会う
学生・若手クリエイターとの縁が採用・ファンづくりに。
- ✓ 作品やPRが会場の外へ広がる
公式サイトに1年間掲載。火焰土器作品は県立歴史博物館へ。
- ✓ 若者が「残りたい街」になる
若者が誇れる街は、地域の会社みんなの力になる。

3 これからのアートHEN — 2027年、世界が新潟を見ている

新潟県民の手で、5年目へ。めざすは来場1万人



4回で延べ約2.8万人が来場。新潟の“冬の風物詩”をめざしています。

*2024は推定値

NEWS 2026.10

ナショナル ジオグラフィック
「2027年に行くべき世界の旅行先25選」に
日本で唯一、新潟県が選ばれました！

理由は「アートの芸術祭」と「新潟の発酵文化」。アートHENは、世界が注目する2027年新潟の幕開けイベントです。

出典：National Geographic 「Best of the World 2027」／新潟県観光協会 発表（2026年10月21日）

アートHEN実行委員会 総隊長

小川 卓

JCI JAPAN TOYP 2025
（青年版国民栄誉賞）
日本商工会議所会頭奨励賞
受賞

- 🔥 若者が新潟から出ていく流れを止めたい。若者と大人がいっしょにワクワクできる街をつくる。
- 🔥 「普通じゃない」は、ほめ言葉。一人の「好き」が仲間と出会うと、まちが変わる。
- 🔥 協賛は「お金を出すこと」ではなく「つなぐこと」。企業・若者・地域を結ぶ「協創パートナー」に。

協賛メニューは別紙へ
1万円から・内容は一緒に相談できます

お問い合わせ（担当：総隊長 小川）

art.niigata@gmail.com

www.art-banpaku.com/sponsor

© アートHEN実行委員会